

国内外における プラスチックのケミカルリサイクル技術の解説とその動向

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260549>

- ◆日時: 2026年05月21日(木) 10:00~12:00
- ◆受講料: 1名につき44,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で44,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**38,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計44,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 一般財団法人カーボンニュートラル燃料技術センター 製造プロセス技術部 プラスチック資源循環研究室
主任研究員 高澤 隆一 氏 【ご専門】プラスチックケミカルリサイクルに関するプロセス開発

【受講対象】

- ・プラスチックのケミカルリサイクル技術、プロセスに興味を持っている方
- ・炭素資源循環やカーボンニュートラルに貢献したいと考えている方

【習得できる知識】

- ・廃プラスチックに関するリサイクル方法、各種ケミカルリサイクル技術
- ・国内外で稼働しているプラント情報、稼働計画
- ・廃プラ回収～選別～廃プラ処理～原料化～製品化～利用～廃棄に亘るサプライチェーンが抱えている課題
- ・欧州における廃プラリサイクルの見通し 等

【講演の趣旨】

国内では約900万トン、全世界では約4億トンのプラスチックが1年間に排出されているが殆どは熱回収や埋立てに用いられ、リサイクルされている割合は全世界で10%に満たない。その様な状況下、原料制約が比較的少ないケミカルリサイクル技術が注目されている。今回は、国内外で稼働しているケミカルリサイクルプラントの稼働状況や計画について、欧州関係機関から直接入手した情報も含めて紹介する

【プログラム】

1. 廃プラスチックのケミカルリサイクル(CR)について
 - 1-1 世界を取巻く廃プラスチック(廃プラ)の状況
 - 1-2 廃プラのリサイクル法
 - 1-3 CR法の種類・技術、目的生成物
 - 1-4 各CR技術における主な反応機構
2. 国内外の混合廃プラCRプラントの稼働状況、計画
 - 2-1 CRプラントの稼働状況(プロセス名称、処理量、場所等)
 - 2-2 CRプラントの計画
 - 2-3 CRプラントが抱える課題
3. トピックス紹介
 - 3-1 単独処理プロセスの事例
 - 3-2 共処理プロセスの事例
 - 3-3 EUにおけるCRの今後の見通し
4. まとめ
 - 4-1 国内外のプラスチックケミカルリサイクルの状況総括
 - 4-2 廃プラケミカルリサイクルに関する課題(例)

『ケミカルリサイクル【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送